



平成22年

5月号



園だより

あながわはなそのようちえん

今月の「ののさま」のことは

じかいわごう 持戒和合

きまりを守り、
集団生活をしよう。

今月の予定

日	曜	活動内容	保育	体操教室			給食
				長	中	少	
6	木	総会前日準備会	-日	○			○
7	金	保護者の会総会	-日				○
10	月	年長組お茶のお作法	-日				
11	火		-日		○		○
12	水	年長組プール	-日				
13	木	5月生まれ誕生会	半日				
14	金	避難訓練	-日				○
17	月		-日				
18	火		-日			○	○
19	水	年中組プール	-日				
20	木	年中組お茶のお作法	-日	○			○
21	金	親子遠足(東京ドイツ村)	-日				
24	月	年長組「それゆけ、たんけんたい!」	-日				
25	火	身長・体重測定	-日		○		○
26	水	千葉市幼稚園協会振興大会	休園				
27	木	ぎょう虫卵検査配布	-日				○
28	金	(遠足予備日)	-日				
29	土	ネイチャーQ園隊	休園				
31	月	年中組「それゆけ、たんけんたい!」 ぎょう虫卵検査提出日	-日				

【お茶のおけいこについて】

1か月に1回、わずか20分ほどですが、坐る・立つ・歩く・おじきするなどの基本的小お作法から始め、日本の伝統文化に触れる体験です。真の国際人を目指して・・・
指導は、裏千家宮田宗尚先生(尚美先生)です。

【夏園服について】

衣替えは6月からですが、17日(月)から夏園服・夏帽子で登園しても結構です。今の時期は寒暖の差が大きいときですので、下に着る長袖や半そでTシャツでも調節してください。

【しゅっせきノートについて】

「しゅっせきノート」は、毎月月末に数日間お預かりして、担任が出欠の集計とお子様の様子を簡潔にお知らせします。
幼稚園での様子をお読みいただいたら、しゅっせきノートにはさんである用紙に、お子さんのご家庭での様子を一言ご返信ください。ご返信は、日常の保育に役立たせていただきたいと思います。

【園への送迎について】

◆送迎時は、担任、または近くの先生に保護者の方も一声かけてくださいますようよろしくお願いいたします。きちんと確認したいと思います。
◆送迎の時間を守ってくださいますようよろしくお願いいたします。ワッペンごとに、間違いなく並べるようルールを教えているところです。子どもたちが、遊ばないで並べるためにご協力をお願いいたします。

*25日身長・体重測定日は、全員園服の下には、体操服で登園してください。着脱が楽で、お子さんの負担になりません。

【園で発熱したとき・・・】

園では、お子様が37℃発熱したら、ご連絡しお迎えをお願いしています。子どもは、良くなるのも早いのですが、悪くなるのも早いとの園医の指示を得ています。

今月の保育

単元	保育のねらい	活動	予想される子どもの状態と対応
年長組	・気の合う友だちと一緒に遊びを楽しむ中で、自分の思いを伝えようとする。	『♪とうばん とうばん おとうばん!』 ～今日から二人でお当番～	小さい子のお世話や、新しいクラスの友だちとの関わりを楽しみながら前向きで一生懸命です。まだ気持ちばかりが先走るこの時期ですが、年長としての立場を実感できるよう。お母さんのお話では「家で甘えてばかり・・・」のお子さんがほとんどとのこと。園では、周囲の子が同年齢か、下ですから皆背伸びして頑張ります。家庭の愛情と園での張り切りが、相乗効果となって成長を促してくれるのですね。
	・野菜の種まきなどを通して、その生長や収穫に期待を持つ。	『“チャレンジ ビーンズ”を育ててみよう!』	
年中組	・新しい活動に興味を持って取り組む。	『みんなと一緒に、はじめの一步!』 ～お茶のおけいこ・プール～	遊びをリードしてくれた持ち上がりの子も、新入の子も、疲れが出たり、緊張がほぐれて、不安定な姿も見えます。友だちと一緒に新しい活動を楽しむこともできますが、お互いに慣れると、時にはぶつかります。しかし、そのような体験でコミュニケーションを学びます。大人は、いつも前向きな子どもの成長の力を信じ、気に掛け、見守りましょう。そして、疑問は、子どものために早めに先生に聞いてみましょう。
	・好きな遊びの中で、友だちとの触れ合いを楽しむ。	『あっち! こっち! あそんじゃおう』	
年少組	・好きな遊びを楽しむ中で、先生や友だちに親しみをもつ。	『お友だちと一緒に楽しめ!』	年長さんのお世話や先生一人ひとりへのたくさんの言葉掛けて、「幼稚園はたのしいところ!」と分ってきました。今月は連休もあり、気持ちが戻る子もいるでしょう。にこにこ自由気ままにしながら、少しずつ生活のリズムやルールを伝え続けていきます。友だちとの遊びが好きなことが、あらゆる楽しさの始まり!「友だちとはお互いさま!」良いところを見つけるために、もちろん我が子を、友だちを、先生を、信じましょう。
	・行事や活動を心待ちにして生活する。	『お弁当 全部食べたよ! ピッカピカ!』	

【川口先生が表彰されます!】

26日の千葉市幼稚園協会振興大会において、川口智子先生が勤続15年の表彰を受けます。保護者の会からも代表の方が3名ご出席くださいます。



お知らせ

4月・5月分保育料の引き落とし日が、5月10日(月)となっておりますので、口座残額のご確認、口座へのご入金など、よろしくお願い致します。

はじめてのおべんとう

4月も下旬になり一日保育が始まり、同時にお弁当も始まりました。

入園したての年少さんだったら、お弁当をカバンから出せない子、うまく広げられない子、まして上手に食べるなんて至難の業。お腹が減っているのに食べられずに泣きだす子、機嫌悪くする子など、そんな子どもたちがたくさんだろうと思って、心配になって見に行きました。ところが、みんなお弁当をちゃんと広げて、どの子も散らかして食べている様子はなく、美味しそうに上手に食べていました。



机のまわりを歩きながらお弁当を見せてもらうと、どのお弁当も色彩豊かで、かわいいおにぎりがあって、野菜もよく考えられているなあと感じ、いえいえ、それ以上に感動すら覚えました。

私の記憶の中で最初のおべんとうがいつのものだったのか、残念ながら思い出せません。母には申し訳ないのですが、穴川花園幼稚園の子どもたちのように、感動するようなお弁当でなかった事は確かです。でも、良く覚えているのは、のり巻きです。今でいえば太巻きというやつです。遠足や運動会といった特別な日だけに、母が作ってくれるものでした。具は、かんぴょうと卵焼きとでんぶ。酢飯を作って、海苔の上に薄く延ばして、その上に具を並べるのですが、でんぶが多めに入るかどうか目を凝らして見ていた記憶があります。そんな作る様子まで覚えているということは、母のそばを離れずに、のり巻きを作る様子を見ていたのだと思います。

とにかく遠足ではお弁当が楽しみでした。早くのり巻きが食べたいと思っていました。年に数回しか食べられない、特別料理でしたから・・・。

食に恵まれている現代の子どもたちにとって、いつでも美味しいものが食べられて、ネットでお取り寄せができて、その上お湯を入れたり、レンジでチンするだけの手軽さで食事ができるのですが、親が作ってくれたお弁当はいつまでも記憶に残る大切な味だということは、不変であって欲しいと願っています。

今月は親子遠足があります。幼稚園の遠足で、親子で食べるお弁当はきっと特別な味として、子どもたちのこころに残ることでしょう。

